近世22.6-13-611A

天保弐年卯月吉日

四條北側
大芝居三而
歌舞妓
狂言番附

板元 松屋又吉版

前狂言
小佛小栗判官

# 一番目 通俗稲荷土産記

於岩稲荷之段

一筆壹 淺草寺の境内小賽の艶姿八今盛ゟ 花王草
一筆貳 裏田甫の春夜ふ情史八同ゟ二人ゟ 齋菖蒲草
一筆叁 内祝言の閨枕ふ寄ハ嫉妬ゟ 蛇苺草
一筆四 隠亡堀の樋口へ流寄ゟる 杖戸ゟ 鬼百合草
一筆五 良業の偸盗人ハ世ふ亡魂が忠実ゟ 龍膽草
一筆六 賤女の七夕祭ハ夫と慎む夢路ゟ 数人草
一筆七 褄雙言の曠小袖ハ古郷へ錦繍ゟ 金銀草

# 切狂言 川崎音頭意氣地

三幕

序幕 相の山二田の町日の出宿

二番目 太く

三番目 下市伊勢屋十人伐のぐん

大切 鳥羽隠家ゟぐん

# 通俗 湖水瓢箪

狂言佛者 松川宝山

千金丸万歳ゟ大ぐん

役者名所見帳ゟ

東京大学文学部・人文社会系研究科
University of Tokyo Faculty of Letters / Graduate School of Humanities and Sociology
東京大学文学部・人文社会系研究科
University of Tokyo Faculty of Letters / Graduate School of Humanities and Sociology